

医療法人大和会西毛病院

■業 種:医療・福祉

■所 在 地:富岡市

■従業員数:568 名うち外国人材 26 名

〔在留資格:介護 3 名、特定技能 21 名、技能実習 2 名〕

〔国籍:ベトナム、中国〕

■ホームページ :<https://www.seimou.org/>

🔍 ここに注目！！

- ✓外国人材受入れ会議
- ✓日本人職員の意識改革
- ✓早期適応を目指した生活支援、事前研修

ゼロからの組織全体で取り組む受入れ環境整備

きっかけ

介護職の不足を背景に、人事課にて2017年頃から外国人材の受入れを検討し始めましたが、何から手をつけてよいかわかりませんでした。そうした中でまずは、外国人材雇用のイメージを掴むため、既に外国人材を雇用している介護施設に配属予定病棟の職員と一緒に視察に行くところから始めました。外国人材が実際に働く様子を見学したり、施設の担当者から外国人材とのコミュニケーションの取り方や教育、生活支援方法などについてアドバイスを受けたりすることで、外国人材の雇用を進める上でのヒントを得ることができました。

外国人材受入れ会議での議論

施設見学と併せて、院内全体で受入れ体制整備に取り組むため、毎月1回、各病棟の担当者を参集した「外国人受入れ会議」を開催し始めました。会議では、受入れに当たって必要となる作業や物品のリストアップや担当者ごとの役割分担などについて話し合いをしながら受入れ環境整備を進めてきました。

また、外国人材を雇用し始めてからは、外国人材が夜勤業務をできることを目標に、各病棟の介護スキルの習得状況の確認や患者とのコミュニケーションの指導法などについて現状と課題を共有

する場として開催し、現場が抱える悩みについて担当者一人ではなく、組織として解決していける体制としています。

夜勤対応までできるようになった現在は、介護福祉士受験者への支援や今後の採用計画などを議題に継続開催しており、外国人材にとってより働きやすい職場づくりを目指しています。



外国人材受入れ会議の様子

日本人職員の意識改革

受入れに当たっては、職場に外国人材が入ることに抵抗感がある日本人職員もいたため、職員の意識改革にも力を入れました。外国人材の配属前には、人事課職員が配属予定病棟の職員に対して技能実習制度の仕組みなど基本的なことを説明し、外国人材のイメージを共有したほか、配属2週間前から朝礼時にオンラインで日本人職員と外国人

材との交流の場を設け、お互いに顔が見える関係を構築しました。これによりお互いの不安がやわらぎ、外国人材のスムーズな受け入れにつながりました。

早期適応を目指した生活支援、事前研修

外国人材が安心して生活し、早期に仕事に適応できることを大切にしています。生活面では、住居の手配や引っ越しの手伝いなどの支援はもちろんのこと、仕事や生活で困った時の相談体制や長期休暇取得規定の整備などを行っています。

また、病棟配属前には、外国人材の先輩職員を交えた介護オリエンテーション研修を実施したり、写真を活用した外国人材にもわかりやすい病棟マニュアルを作成したりするなど、早期に業務に適応できるよう支援しています。



介護オリエンテーション研修の様子

加えて、介護福祉士取得に向けた研修費用等を当院が負担する制度もあり、意欲ある外国人材の将来を見据えたキャリアアップも支援しています。

外国人材の活躍

介護業務は、患者さんとの信頼関係が必要となり、日本人職員にとっても難しい仕事ですが、外国

人材のひたむきな姿勢などもあり、患者さんとも良好な関係を築いています。また、介護の実務経験がない者がほとんどですが、日頃のリーダー業務や夜勤も短期間でできるようになり、中には日本人の新入社員への指導や院内の防災訓練を主導する「防災係」を担当するまでに成長している者もいます。

若い外国人材が真摯に仕事に対して向き合う姿を見て、日本人社員も良い刺激を受け、各人の業務に対するモチベーションを上げるきっかけになっています。



【外国人スタッフの声】

チャン ドウック トーさん(ベトナム出身)

写真右

介護の実務経験はありませんでしたが、介護オリエンテーション研修でベトナム人の先輩職員が難しい専門用語などについてフォローしてくれたので、早く仕事に慣れることができました。

党 琳(とう りん)さん(中国出身)

写真左

当院では、仕事や生活などで困った時にいつでも気軽に担当者に相談できる体制があるので、安心して仕事に専念することができます。

【代表者の声】

外国人スタッフを採用するにあたり、安心して仕事に取り組める環境をつくることで、生活や仕事への不安を少しでも軽減し、彼らの力が十分発揮できるよう支援しています。

彼ら外国人スタッフの仕事に向き合う真摯な姿勢を見て、我々日本人スタッフも刺激を受けております。

来日し、縁あって当院で働く機会を得られた彼らが、介護という素晴らしい仕事を通して、私たちと共に人として成長されることを強く望んでおります。



理事長 武田 滋利さん